

MITSUBISHI

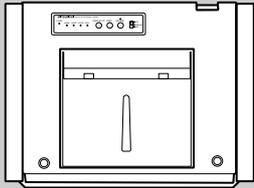
三菱デジタルカラープリンタ

形名

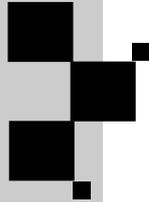
CP8000D

取扱説明書

この取扱説明書は自然保護
のためエコマーク認定の再
生紙を使用しています。



このたびは三菱デジタルカラープリンタを
お買い上げいただきありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、大切に保管してください。
万一ご使用中にわからないことや不都合が生じたとき
きつとお役に立ちます。



DIGITAL COLOR PRINTER

特長

目的に応じて3種類の印画サイズに対応

Wサイズ(152 mm×229 mm)、Lサイズ(152 mm×102 mm)、Mサイズ(127 mm×89 mm)の3種類の印画サイズが選べます。

高速プリント

プリントペーパーにはロール紙を採用し、給紙、排紙の時間を大幅に削減することにより、ノーマルスピードのときMサイズで約15秒の超高速でプリントすることができます。

大量プリント

1ロールあたりのプリント枚数はMサイズで240枚ですので、ペーパー、インクシートの交換頻度が大幅に減り、非常に効率的です。

高画質プリントを実現

画像の再現性に優れた昇華染料熱転写方式でYMC各色256階調約1670万色のフルカラー高精細プリントが可能です。

304PPIの高解像度

画像データを鮮明に再現する304PPIの高解像度を実現。緻密なイラストレーションや写真画像も驚くほどシャープに美しくプリントします。

各種インターフェイスと多様なシステムに対応できる付加機能

- (1) SCSI II, IEEE1284, USBインターフェイスの制御信号入出力。
- (2) 新開発ドライバーによりPC内処理時間の短縮。

特長	2
もくじ	3
安全のために必ず守ること	4 ~ 7
使用上のお願い	8 ~ 9
開梱	10
各部の名称とはたらき	11 ~ 12
前面	11
後面	12
コンピュータとの接続	13 ~ 18
SCSIインターフェイスとの接続	13
パラレルデータインターフェイスとの接続	14
パラレルデータ入力端子信号配置	15 ~ 17
USBインターフェイスとの接続	18
ご使用前の準備	19 ~ 24
プリント用紙とインクシートの種類	19
インクシートの入れかた	19 ~ 20
プリント用紙の入れかた	21 ~ 22
プリント用紙の取扱い	23
プリンタドライバのインストールについて	24
トラブルシューティング	25 ~ 27
前面インジケータの表示と処置	25
紙づまりの処置	26
サービスをお申しつけの前に	27
プリンター輸送時のお願い	27
クリーニングについて	28
仕様と別売品について	29

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの	 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
---------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------

図記号の意味は次のとおりです。

 絶対に行わないでください	 絶対に分解・修理はしないでください	 絶対に触れないでください
 絶対に水にぬらさないでください	 絶対にぬれた手で触れないでください	 必ずアース線を取り付けてください
 必ず指示に従い、行ってください	 必ず電源プラグをコンセントから抜いてください	 指をはさまないように、注意してください

製品のイラストは参考例ですので、お買いあげの機種により、形状が異なる場合があります。また、お買いあげの機種には、該当しない説明も含まれています。

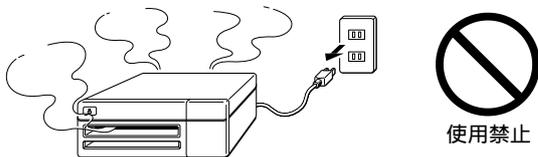
警告

万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く!!

異常のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

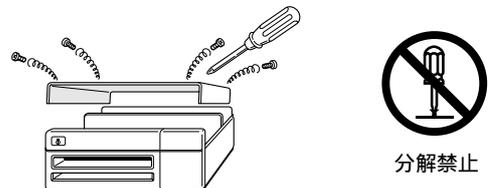


煙が出ている、変なにおいがするなど、異常なときは、電源プラグをすぐ抜く!!



異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切ったあと電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、販売店に修理をご依頼ください。

キャビネットをはずしたり、改造しない



内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因となります。また、改造すると、ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。

警告

不安定な場所には置かない



禁止

ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

落としたり、キャビネットを破損した場合は使わない

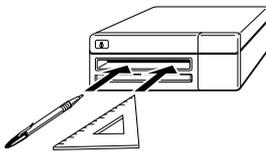


使用禁止

火災や感電の原因となります。

内部に異物を入れない

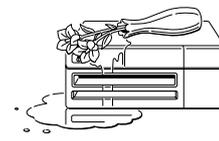
特にお子様にご注意を



禁止

用紙排出口や通風孔から金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電の原因となります。

花瓶やコップ、植木鉢、小さな金属物などを上に置かない

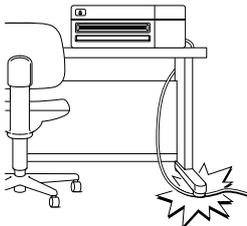


水ぬれ禁止

内部に水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。

電源コードを傷つけない

重いものをのせない 引っ張らない ねじらない
無理に曲げない 加熱しない 加工しない

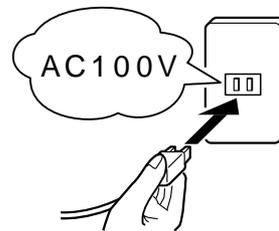


禁止

コードに傷がつくと、火災や感電、故障の原因となります。

電源コードの芯線が露出したり断線するなど、コードが傷んだときは、すぐに販売店に修理をご依頼ください。

正しい電源電圧(交流100V)で使う



交流100V

交流100V以外の電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

水でぬらさない



水ぬれ禁止

火災や感電の原因となります。

雨天、降雪中、海岸、水辺などの屋外や、窓辺での使用は、特にご注意ください。

付属のACプラグ2P変換アダプタを使用するときは確実に接地する



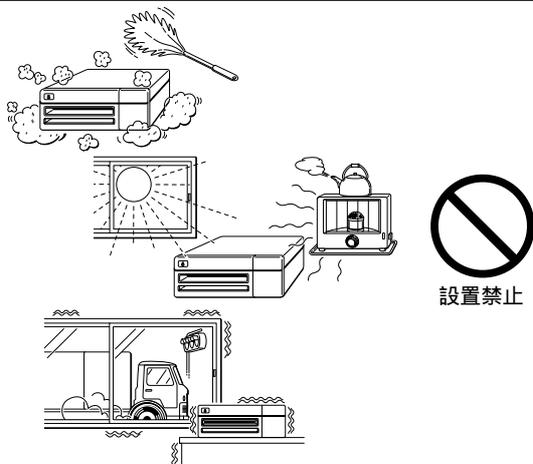
確実に接地する

確実に接地せずに使用すると、感電、火災、故障の原因となります。また、アース線と異電極との接触などにより、感電、火災、故障の原因となります。

⚠️ 注意

設置時は、次のような場所には置かない

- 湿気やほこりの多い場所
- 風通しの悪い狭い場所
- 油煙や湯気が当たる場所
- 直射日光の当たる場所や熱器具の近くなど、高温になるところ
- 硫化水素、酸化イオウなどが発生する場所
- 振動がある場所



設置禁止

このような場所に置くと、ショートや発熱、電源コードの被膜が溶けるなどにより、火災や感電、故障、変形の原因となることがあります。

通風孔をふさがない

- 風通しの悪い狭い場所に置かない
- テーブルクロスなどをかけない



禁止

通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

本機の上に重いものを置いたり、本機の上にのらない

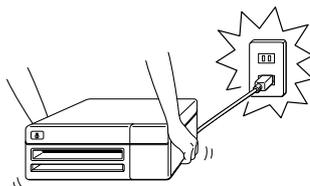
特にお子様にご注意を



禁止

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

接続したまま本機を移動させない

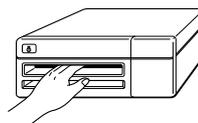


禁止

電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。電源コードや接続機器とのケーブルをはずしたことを確認してから移動させてください。

プリント用紙排出口に手を入れない

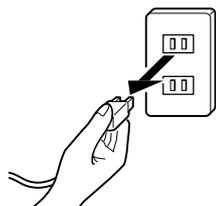
特に小さなお子様にご注意を



禁止

プリント用紙排出口内部には用紙を切るためのカッターがついていますので、手を切るなどのけがの原因となることがあります。

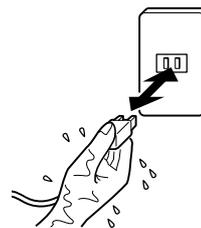
電源プラグを持って抜く



プラグを持つ

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

⚠ 注意

前面ドアを開けたままにしない



禁止

前面ドアを開けたまま本機を動かすと、ドアが閉まり、けがや故障の原因となることがあります。

前面ドアは確実に押し込んで閉じる



指はさみ注意



確実に閉める

前面ドアを閉めるときは、指をはさまないようにご注意ください。ドアが確実に閉まっていないと、本機を動かしたときにドアが開き、けがや故障の原因となることがあります。

本機内部のサーマルヘッドには触れない



接触禁止

高温になっている場合があるため、触れるとやけどやけがの原因となることがあります。

紙詰まりの処置の際は、取扱説明書で指定している場所以外には触れない



接触禁止

内部には高温の部分があり、触れるとやけどの原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いておく



プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行う



プラグを抜く

安全のため、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

電源プラグのほこりなどは定期的に取り、差し込みの具合を点検する



ほこりを取る

ほこりなどがついたり、コンセントへの差し込みが不完全な場合は、火災や感電の原因となることがあります。

1年に1回はプラグとコンセントの定期的な清掃をし、最後までしっかり差し込まれているか点検してください。

5年に一度は内部の掃除を依頼する



内部掃除

販売店にご依頼ください。

内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うのが効果的です。内部掃除費用については、販売店にご相談ください。

日本国内専用です



日本専用

信号方式、電源電圧の異なる海外では使用できません。
This DIGITAL COLOR PRINTER set can not be used in foreign country as designed for Japan only.

使用上のお願い

<p>露付きが起こった場合は (本機の内部に水滴がつくことを露付きといいます)</p> <p>露付き状態で本機を使用すると、プリント用紙の表面に湿気や露が付き、印画品質の低下や紙づまりの原因となります。露付きが起こりそうなときは、電源を入れて2時間以上おいてからご使用ください。</p> <p>プリント用紙が装着されているときは、取り出ししてから電源を入れてください。</p> <p>露付きは次のようなときに起こります。</p> <ul style="list-style-type: none">・部屋を急激に暖房したとき・エアコンなどの冷風を直接当てたとき・本機を寒いところから暖かいところに移動させたとき <p>露付きしたプリント用紙は正常にプリントできない場合がありますので、新しい用紙と取り替えてください。</p>	<p>接続機器、接続ケーブル</p> <p>本機に接続して使用する機器の取扱説明書に記載されている「使用上のご注意」をよくごらんください。</p> <p>プリント中は</p> <p>本機を動かしたり、前面ドアを開けたりしないでください。プリント不良の原因となります。</p> <p>プリント用紙を引っ張らないでください。プリント不良やエラーの原因となります。</p>
<p>置き場所、取扱い</p> <p>水平においてください。傾いた状態や不安定な場所で使用すると、本機に悪い影響を与えます。</p> <p>殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。</p> <p>周囲温度は5 ～ 40 、湿度は20%～80%でお使いください。本機をシステムラックに組み込んだときは、ラック内の温度、湿度も上記の範囲でお使いください。</p> <p>本機の上に重いものを載せないでください。キャビネットを傷めたり、故障の原因となります。</p> <p>前面ドアを開けたときは、ドアを押さえつけないでください。故障やプリント不良の原因となります。</p>	<p>プリント用紙、インクシート</p> <p>プリント用紙やインクシートに付着したゴミやホコリ、あるいは低・高温時における変形等のためプリント画の中に微妙な色抜けや色ムラ、スジ、シワが発生することがあります。</p> <p>電源を切るときは</p> <p>プリント終了後に切ってください。プリント中に電源を切ると、プリントが中断し、紙づまりの原因となります。</p>

<p>お手入れ</p> <p>前面パネル部分の汚れは柔らかい布でふいてください。</p> <p>汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に浸した布をよくしぼって汚れをふき取り、乾いた布で仕上げてください。</p> <p>化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。</p> <p>ベンジン、シンナーなどの溶剤は、使わないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。</p>	<p>サーマルヘッドの磨耗と交換</p> <p>サーマルヘッドは磨耗します。サーマルヘッドが磨耗すると鮮明な画像がプリントできなくなることがあります。このような場合はサーマルヘッドの交換が必要です。</p> <p>サーマルヘッドの交換は販売店にご相談ください。</p>
<p>引っ越しや輸送のときは</p> <p>インクカセットおよび本機内のプリント用紙を取り出してから梱包してください。</p>	<p>著作権</p> <p>ご自身が制作、撮影した映像以外からのプリントは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。</p>

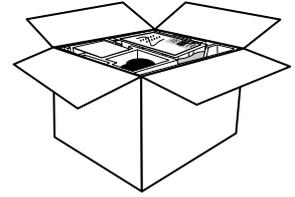
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

本機を使用中に万一発生した故障等の不具合によりプリントされなかった内容の補償についてはご容赦願います。

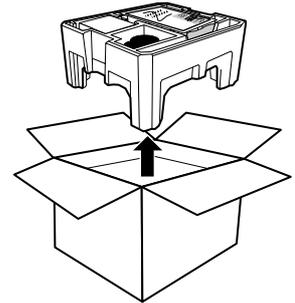
開梱

プリンタは下記の手順で箱から取り出してください。付属品はそろっているか、あわせて確認してください。

1 箱を開けます。

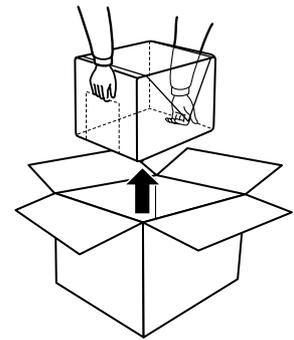


2 付属品を取り出します。

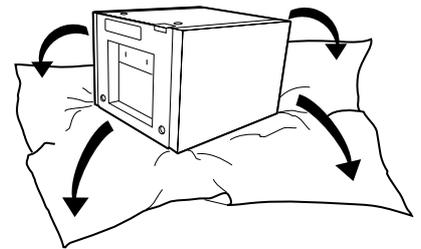


3 プリンタを取り出します。

本機前面のプリント出口と後面の底を持って取り出します。
水平に取り出してください。

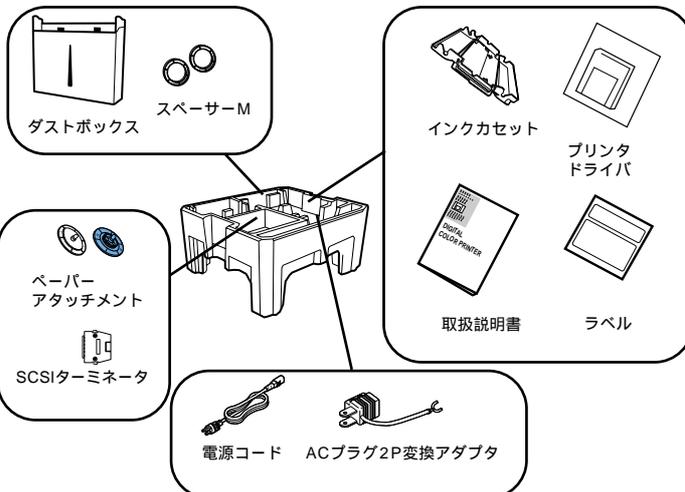


4 包装を取り除きます。



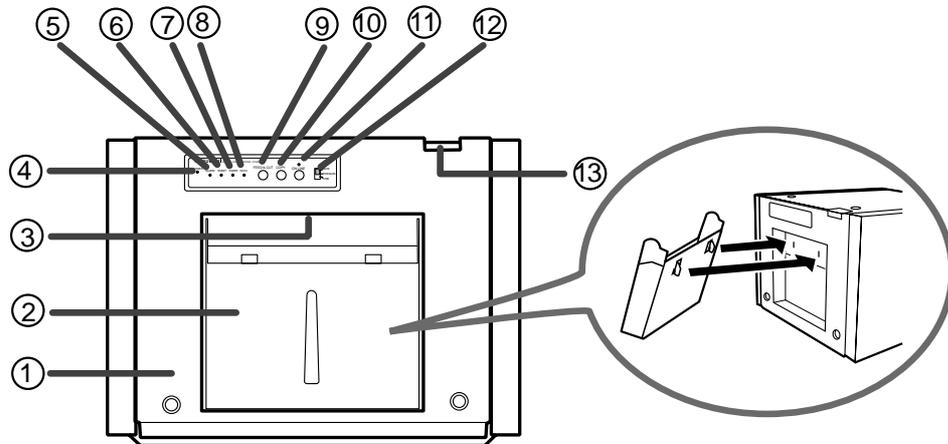
■ 付属品

クッションの上に入っています。内容を確認してください。



各部の名称とはたらき

前面



① ドア

プリント用紙やインクシートを入れるときに開けます。
上面の⑬OPENボタンを押すと、開きます。

② ダストボックス

プリント出口から出てきた切りくずを受けます。
図のようにダストボックスを本機に取り付けてください。

お知らせ

本機の設置状態やプリント用紙の保管状態などにより、
切りくずがダストボックスから落ちることがあります。

③ プリント出口

プリントされた用紙の出口です。

④ POWERインジケータ

電源が入ると、インジケータが点灯します。

⑤ ALARMインジケータ

本機がオーバーヒートしたときに点滅します。ドアが開いているときは点灯します。また、その他のエラーが生じたときにも点灯します。25ページをごらんください。

⑥ SHEETインジケータ

インクシートに関するエラーが起こったときインジケータが点灯します。25ページをごらんください。

⑦ PAPERインジケータ

プリント用紙に関するエラーが起こったときにインジケータが点灯します。25ページをごらんください。

⑧ DATAインジケータ

データ転送中にインジケータが点滅します。25ページをごらんください。

フィードアンドカット

⑨ FEED & CUTボタン

このボタンを押すと、プリント用紙が一定幅送り出された後、裁断されます。

⑩ON LINEボタンの上のランプが点灯しているときは、このボタンは無効となります。

ドアを閉め、オフライン状態でこのボタンを押すと、本機の状態が初期化されます。

本機を初めてご使用になる時と、プリント用紙を交換した時は、必ずこのボタンを押してください。

コピー

⑩ COPYボタン

このボタンを押すと本機に最後に転送されたデータがもう一度コピー・プリントされます。

⑩ON LINEボタンの上のインジケータが点灯しているときは、このボタンは無効となります。

オンライン

⑪ ON LINEボタン / ON LINEインジケータ

このボタンを押して、オンライン / オフラインを切り換えます。オンライン状態にすると、接続しているコンピュータから本機をコントロールできます。オンライン状態ではボタンの上のインジケータが点灯します。

もう一度このボタンを押すとオフライン状態(インジケータ消灯)になります。

連続プリント中にこのボタンを押すと、印画中のプリントが完了後、停止します。

⑫ 入力切替スイッチ

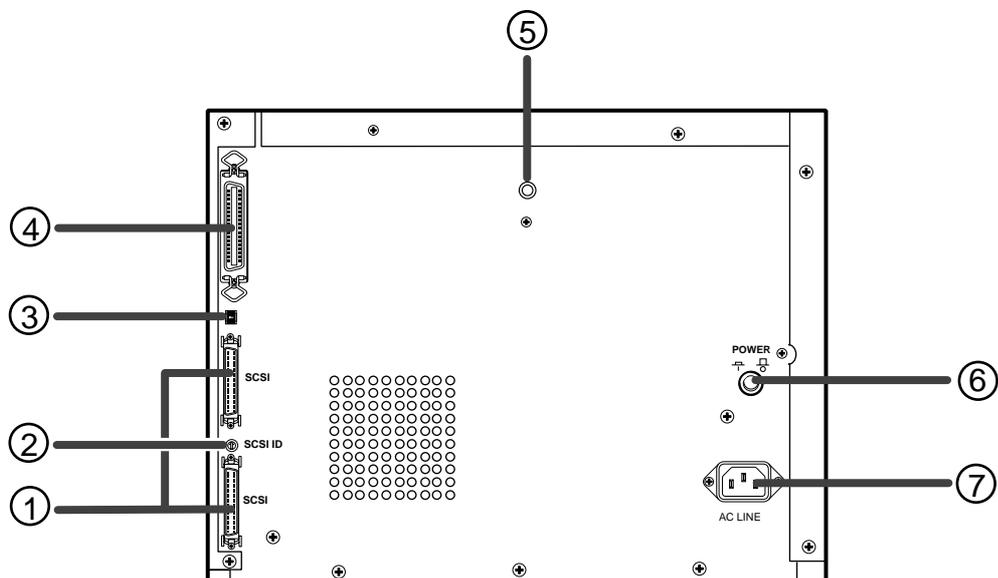
接続する機器の端子の種類によって切り換えます。
電源を入れる前に切り換えてください。

オープン

⑬ OPENボタン

このボタンを押すと、ドアが開きます。

後面



スカジー
① SCSIポート
パソコンなどのSCSI規格の機器と接続します。
接続については13ページをごらんください。

スカジー
② SCSI IDスイッチ
SCSI IDを設定します。
設定については13ページをごらんください。

ユーエスピー
③ USB 端子
USBケーブルを接続します。
設定については18ページをごらんください。

パラレルデータイン
④ PARALLEL DATA IN端子
パソコンなどのパラレルデータを扱う機器と接続します。
ケーブルを使用しないときは、付属の保護キャップを取り
付けてください。
設定については14～17ページをご覧ください。

リモート
⑤ REMOTE端子
この端子は、サービスマン以外は使用しないでください。

パワー
⑥ POWERボタン
電源のON/OFFに使用します。ボタンを押すたびにON/
OFFが切り換わります。

ライン
⑦ AC LINEソケット
付属の電源コードを接続するソケットです。
確実に接続してください。

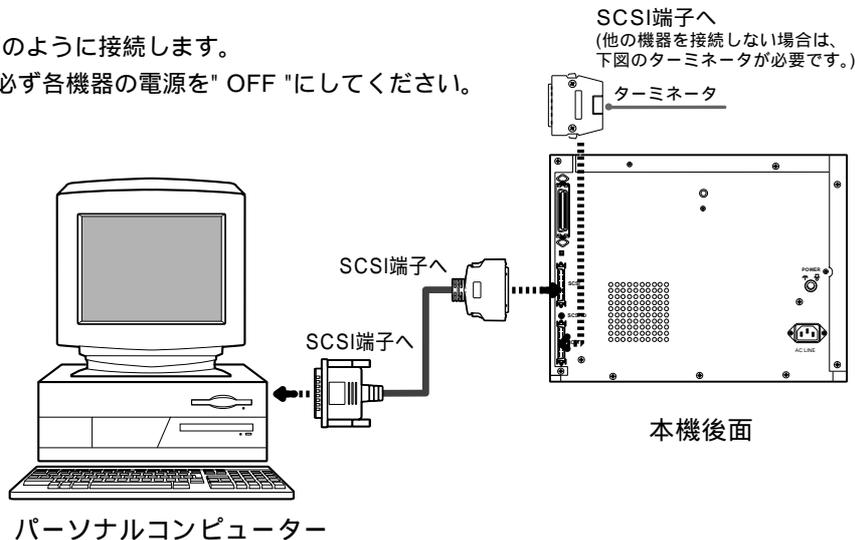
コンピュータとの接続

SCSIインターフェイスとの接続

パソコンと接続する（例）

本機とパソコンを以下のように接続します。

接続するときは、必ず各機器の電源を"OFF"にしてください。



- 1 SCSIケーブルで本機とパソコンを接続します。
- 2 本機前面の入力切替スイッチをSCSIにします。



SCSI IDスイッチを設定する



本機後面のSCSI IDスイッチを接続するパソコンにあわせて設定します。

SCSI ID番号は"1"から"6"の間から重複しない番号を割り当ててください。

細いマイナスドライバーなどでSCSI IDスイッチ中央の↑を回転させて設定します。

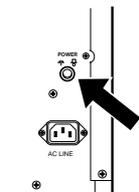
工場出荷時は"5"番に設定されています。

SCSI ID番号は"7"がご使用になるパソコン用、"0"がパソコンの内蔵ハードディスク用として、あらかじめ割り当てられています。

また、ご使用になるパソコンに本機以外のSCSI機器が接続されている場合は、本機のSCSI ID番号と、すでに設定されている他の機器のSCSI ID番号が重複しないように設定します。

オンライン状態にする

- 1 本機後面のPOWERボタンを押して、電源を入れます。
- 2 接続したパソコンの電源を入れます。
- 3 本機前面のON LINEボタンの上のインジケータが点灯していることを確認します。
インジケータが消えているときは、ON LINEボタンを押して点灯させます。

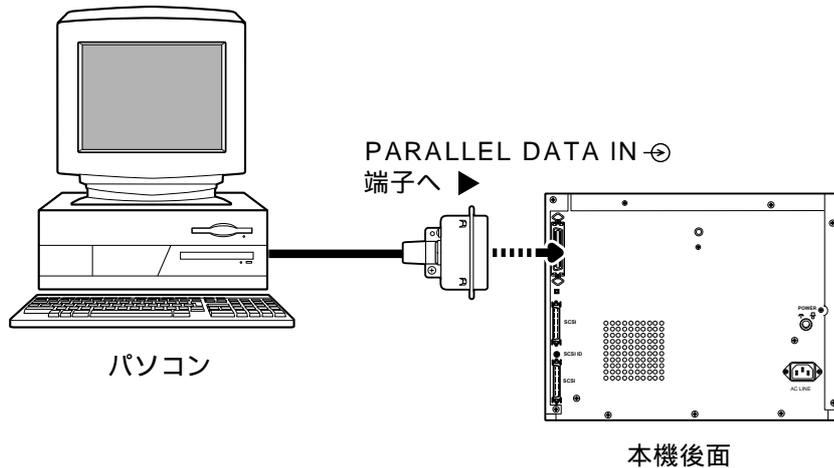


パラレルデータインターフェイスとの接続

パソコンと接続する（例）

本機とパソコンを以下のように接続します。

接続するときは、必ず各機器の電源を" OFF "にしてください。

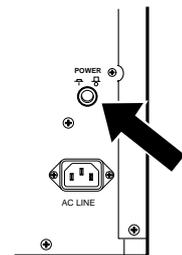


- 1 パラレルケーブルで本機とパソコンを接続します。
- 2 本機前面の入力切替スイッチをPARALLELにします。

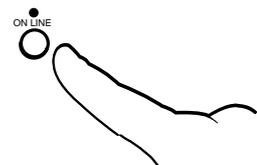


オンライン状態にする

- 1 本機後面のPOWERボタンを押して、電源を入れます。
- 2 接続したパソコンの電源を入れます。



- 3 本機前面のON LINEボタンの上のインジケータが点灯していることを確認します。
インジケータが消えているときは、ON LINEボタンを押して点灯させます。



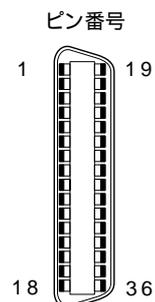
お知らせ

「コンパチブルモード」ECPモードの双方向サポートしない」をご使用の場合は SCSI IDスイッチを「7」にしてください。

但し、本機前面の入力切替スイッチをSCSIに変更して使用される場合は、SCSI IDスイッチを13ページの「SCSI IDスイッチを設定する」に従って変更した後、ご使用ください。

パラレルデータ入力端子信号配置

コネクタ.....JD36SL同等品(36ピン)
 入力レベル.....TTL
 パラレルデータ入力端子 信号配置(信号 : Compatible)



ピン番号	リターン側 ピン番号	信 号	発 信 元	機 能
1	19	$\overline{\text{STROBE}}$	ホストコンピュータ	データを読み込むためのストロブパルス パルス幅は受電端にて0.5 μs 以上必要 定常状態では“ High ”であり“ Low ”となった後 にデータを読み込む。
2 3 4 5 6 7 8 9	20 21 22 23 24 25 26 27	DATA1 (LSB) DATA2 DATA3 DATA4 DATA5 DATA6 DATA7 DATA8 (MSB)	ホストコンピュータ/本機 ホストコンピュータ/本機 ホストコンピュータ/本機 ホストコンピュータ/本機 ホストコンピュータ/本機 ホストコンピュータ/本機 ホストコンピュータ/本機 ホストコンピュータ/本機	“ High ” はデータが1であり“ Low ” はデータが 0となる。各信号はパラレルデータの1ビット目 から8ビット目までの情報を表わす。
10	28	$\overline{\text{ACK}}$ (ACKNOWLEDGE)	本機	データ受取り認知パルス(“Low”) でデータ入力完了 後に生じる。
11	29	BUSY	本機	“ High ” は本機がデータを受け取れないことを示す。 逆に“ Low ” は本機がデータを受け取れることを示 す。この信号が“ High ”になるのは次の場合である。 オフライン中 データエントリー中
12		P · E (PAPER END)	本機	High : 紙なし Low : 紙あり
13		SELECT	本機	High : オンラインスイッチONの時 Low : オンラインスイッチOFFの時
14		AutoFd	ホストコンピュータ	High
16 · 17		GND		アース
18		High	本機	PeripheralLogicHigh
19 ~ 30		GND		アース
31	16	$\overline{\text{Init}}$	ホストコンピュータ	本機へ転送中のデータをクリアする(Lowパル ス)。パルス幅は受電端にて100 μs 以上必要。
32		$\overline{\text{Fault}}$	本機	Low : 本機に異常発生 (紙づまり等のエラー)
15 · 33 ~ 35		NC		未使用
36		$\overline{\text{SelectIn}}$	ホストコンピュータ	Low

信号配置(信号 : Nibble)

ピン番号	リターン側 ピン番号	信号	発信元	機能
1	19	HostClk	ホストコンピュータ	High
2 ~ 9	20 ~ 27	Unknown	ホストコンピュータ/本機	Unknown
10	28	PtrBusy	本機	HostBusy "Low"の時"Low"でデータを送信する。HostBusy "High" になるのを受けて"High"に戻る。
11	29	PtrBusy	本機	Data4, Data8 (MSB)
12		AckDataReq	本機	Data3, Data7
13		Xflag	本機	Data2, Data6
14		HostBusy	ホストコンピュータ	"High"でホストがBusyであることを示す。"Low"の時データ送信可能。
16・17		GND		アース
18		High	本機	PeripheralLogicHigh
19 ~ 30		GND		アース
31	16	$\overline{\text{Init}}$	ホストコンピュータ	本機へ転送中のデータをクリアする。(Lowパルス)パルス幅は受電端にて100 μ s以上必要
32		$\overline{\text{DataAvail}}$	本機	Data1(LSB), Data5
15・33 ~ 35		NC		未使用
36		1284 Active	ホストコンピュータ	IEEE1284の各モードを要求するとき"High"になる。

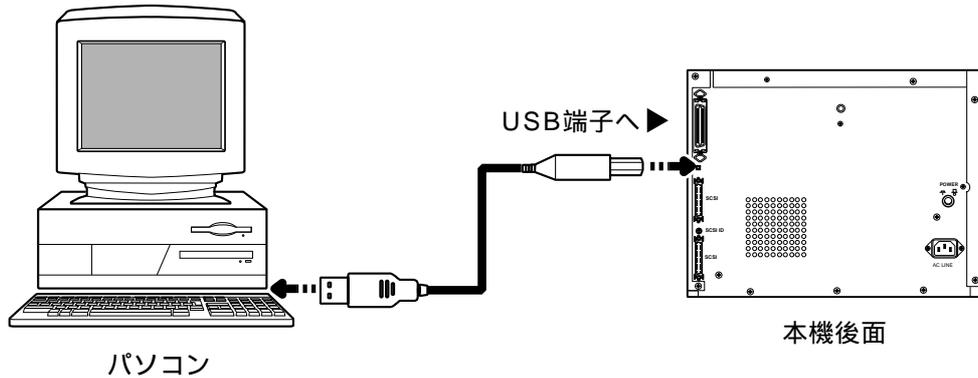
信号配置(信号 : ECP)

ピン番号	リターン側 ピン番号	信 号	発 信 元	機 能
1	19	HostClk	ホストコンピュータ	フォワード転送時: PeriphAckが"Low"かつ読み込むべきデータがある場合"Low"となる。PeriphAckが"High"になるのを受けて"High"に戻る。
2	20	DATA1 (LSB)	ホストコンピュータ/本機	“ High ” はデータが1であり “ Low ” はデータが0となる。各信号はパラレルデータの1ビット目から8ビット目までの情報を表わす。
3	21	DATA2	”	
4	22	DATA3	”	
5	23	DATA4	”	
6	24	DATA5	”	
7	25	DATA6	”	
8	26	DATA7	”	
9	27	DATA8 (MSB)	”	
10	28	PeriphClk	本機	リバース転送時: HostAck :Low:の時"Low"データを送信する。HostAck "High"を受けて"High"に戻る。
11	29	PeriphAck	本機	フォワード転送時: "High"で本機がBusy状態であることを示す。"Low"でデータ受信可能であることを示す。
12		AckReverse	本機	High : フォワード転送(受信) Low : リバース転送(送信)
13		Xflag	本機	ECPモードをサポート中"High"にする。
14		HostAck	ホストコンピュータ	リバース転送時: "High"でホストがBusy状態であることを示す。"Low"でデータ送信可能であることを示す。
16・17		GND		アース
18		High	本機	PeripheralLogicHigh
19~30		GND		アース
31	16	Reverse Request	ホストコンピュータ	ホストより本機にデータ送信を要求する時"Low"になる。
32		Periph Request	本機	本機より送信要求がある場合"Low"
15・33~35		NC		未使用
36		1284 Active	ホストコンピュータ	IEEE1284の各モードを要求する時"High"になる。

USBインターフェイスとの接続

パソコンと接続する（例）

本機とパソコンを以下のように接続します。

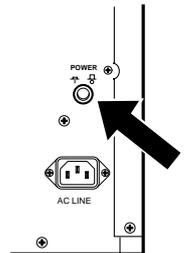


- 1 USBケーブルで本機とパソコンを接続します。
- 2 本機前面の入力切替スイッチをUSBにします。

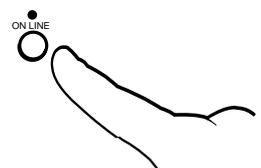


オンライン状態にする

- 1 本機後面のPOWERボタンを押して、電源を入れます。
- 2 接続したパソコンの電源を入れます。



- 3 本機前面のON LINEボタンの上のインジケータが点灯していることを確認します。
インジケータが消えているときは、ON LINEボタンを押して点灯させます。



ご使用前の準備

プリントする前に次の準備をしておきます。

- 1 インクシートを入れます。(19～20ページ)
- 2 プリント用紙を入れます。(21～22ページ)

プリント用紙とインクシートの種類

本機でプリントされる場合は必ず下記の専用品をお使いください。

■ プリント用紙+インクシート

品名	プリントサイズ	プリント数	用途
CK8000FM4P	Mサイズ	240枚	表面保護コーティングカラープリント用
CK8000FL4P	Lサイズ	220枚	表面保護コーティングカラープリント用
CK8000FW4P	Wサイズ	110枚	表面保護コーティングカラープリント用
CK8000PSTE	Lサイズ	220枚	表面保護コーティングポストカードサイズプリント用(裏面横書きハガキ印刷)

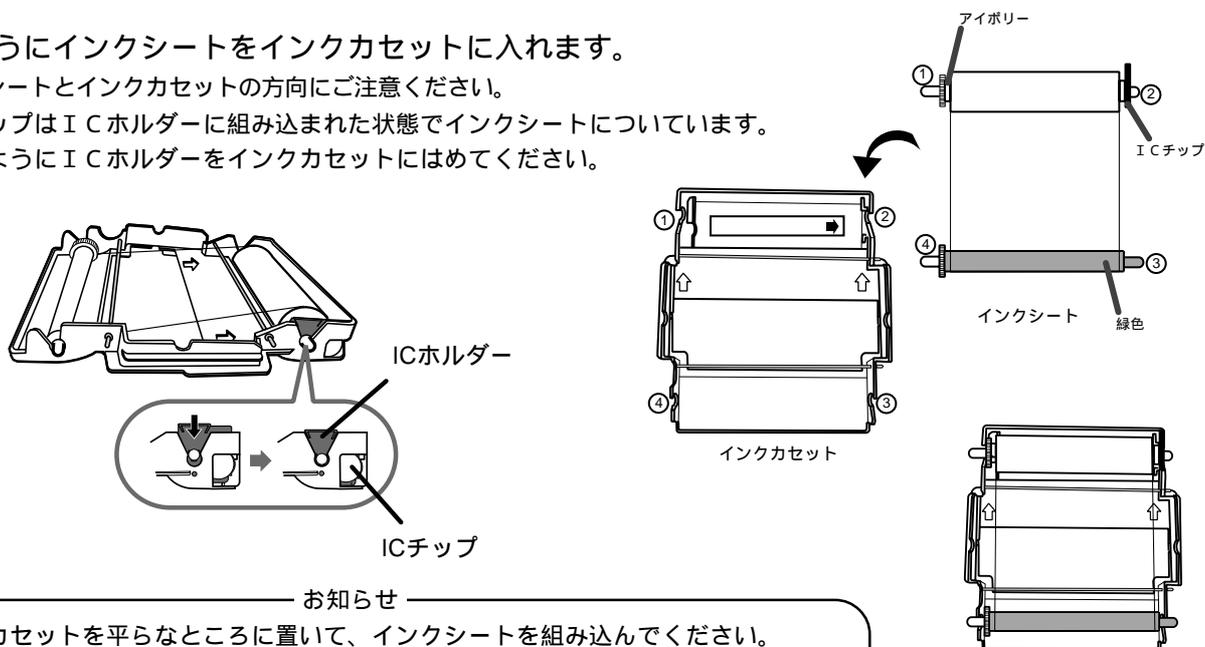
インクシートの入れかた

■ インクシートの組み込み

本機にインクカセットを装着する前に、別売のインクシートをインクカセットに組み込んでください。

- 1 右図のようにインクシートをインクカセットに入れます。

- ・ インクシートとインクカセットの方向にご注意ください。
- ・ ICチップはICホルダーに組み込まれた状態でインクシートについています。下図のようにICホルダーをインクカセットにはめてください。

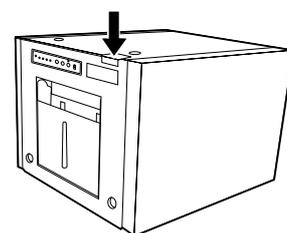


お知らせ

- ・ インクカセットを平らなところに置いて、インクシートを組み込んでください。
- ・ インクシートの軸がしっかりとインクカセットに入っていることを確認してください。
- ・ インクシートからIC(ホルダー)を取り外さないでください。IC(ホルダー)を取り外すとプリントができなくなります。

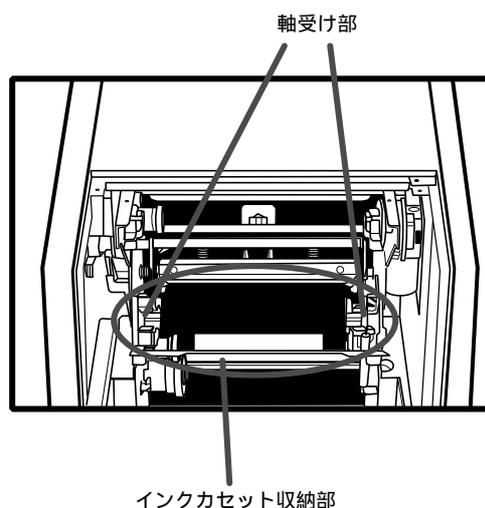
■ インクカセットの装着

- 1 OPEN ボタンを押して、ドアを開けます。

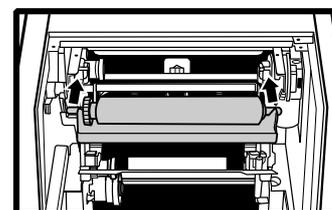


- 2 インクシートが入ったインクカセットを収納部に入れます。
インクシートが巻かれていない軸(緑色)を手前にして、図の位置に差し込みます。

インクシートの軸(アイボリー)が軸受け部に確実にはまっていることを確認してください。
インクシートがたるんでいるときは、手前側の歯車(緑色)を回してたるみをとってください。

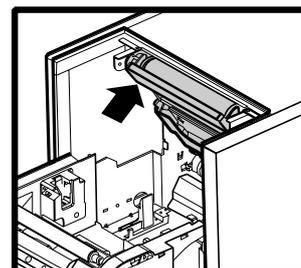


- 3 インクカセットを矢印の方向へ、カチッと音がするまで押し上げます。
インクシートの軸(緑色)を矢印で示している軸受け部に確実に入っていることを確認してください。



お知らせ

インクシートがなくなった時は、まず、プリント用紙を取りはずしてから、上の1から3の手順を逆に行なって交換してください。



プリント用紙の入れかた

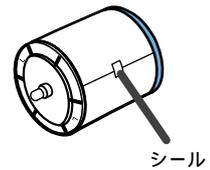
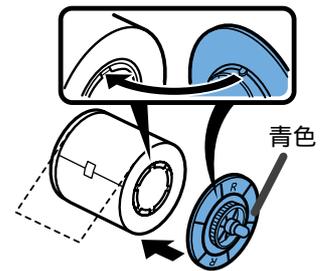
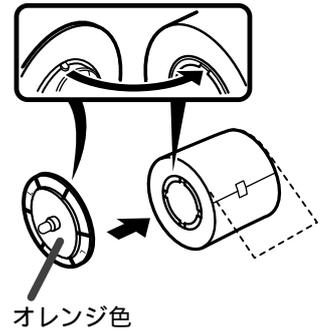
インクカセットを本機に装着してからプリント用紙を入れます。
インクカセットを装着しないまま、プリント用紙を本機に入れしないでください。

1 付属のペーパーアタッチメントをプリント用紙の両側に取り付けます。

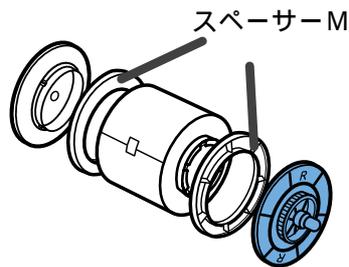
まず、ギアの付いていないオレンジ色のペーパーアタッチメントをプリント用紙の左側に取り付けます。次にギアの付いている青色のペーパーアタッチメントをプリント用紙の右側に取り付けます。
ペーパーアタッチメントの突起部分をペーパーボbinのスリットに正しく合わせて確実に装着してください。

お知らせ

- ・ ギアをとり付ける方向を間違えないようにご注意ください。
- ・ ここではまだプリント用紙のシールを取らないでください。
- ・ プリント用紙をたるませないでください。たるませたままプリントすると印画不良の原因となります。



CK8000FM4Pを使用するときは右図のように
にスペーサーを取り付けてください。



お知らせ

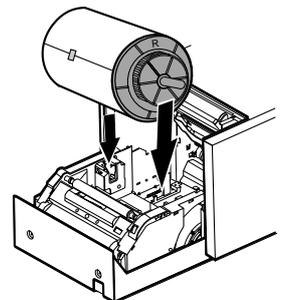
ヘッドには触れないようにしてください。
ヘッドにゴミや指紋が付くと印画不良の原因となります。

2 プリント用紙を本体に取り付けます。

プリント用紙を取り付けるときは、本機の電源がONになっていることを確認してください。
また、プリント用紙が奥までしっかりと入っていることを確認してください。

お知らせ

ゆっくりと取り付けてください。溝の上端から落としたりすると、本機や付属品が破損する恐れがあります。



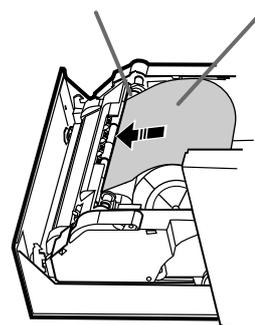
③ プリント用紙のシールをはがし、用紙を右図のようにローラーの間におします。

- ・ シールはプリント用紙をローラーの間におす前に必ず取りのぞいてください。このとき、プリント用紙が斜めに入らないようにします。
- ・ LEDランプが点灯するまでプリント用紙をローラーの下に送ります。

お知らせ

ローラーを汚さないように注意してください。
ローラーが汚れていると、印画不良の原因となります。

ローラー プリント用紙



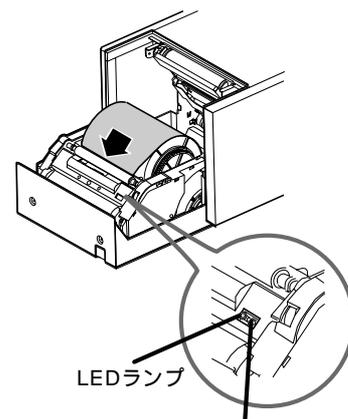
④ LEDランプが点灯したら、用紙装着ボタンを押します。

プリント用紙が固定されます。

(用紙ボタンを押すたびに、用紙の固定/解除が繰り返されます。)

お知らせ

- ・ プリント用紙がなくなった時(PAPERインジケータが点灯します)は、まず、インクカセットを取りはずしてから、上の①から③の手順を逆に行なって交換してください。
- ・ プリント用紙は、必ず電源を入れた状態で交換してください。
- ・ たるんだプリント用紙はよく巻き取ってください。たるんだままで以下の動作を行うと、プリント用紙が傷む場合があります。



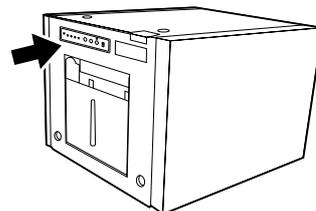
LEDランプ

用紙装着ボタン

⑤ ドアを閉じます。

お知らせ

- ・ ドアを閉じたとき、「カチッ」とロック音がするまで押し込んでください。
- ・ ドアを閉じたとき SHEETインジケータが点灯した場合は、ICチップが取り付けられていないか、正しく装着されていない可能性があります。
ドアを開けて、正しく装着されているか確認してから、再度ドアを閉じてください。
- ・ ドアを閉じてから2秒後にプリント用紙設定の初期化が行われます。この初期設定が完了してから⑥へ進んでください。



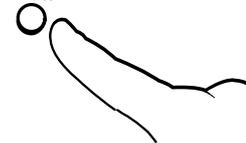
⑥ ON LINEボタンを押して、オフライン状態にします。(インジケータ非点灯)

⑦ FEED & CUTボタンを押します。

プリント用紙が約15cm送り出された後、裁断されます。プリント用紙を交換したときは、この動作を3回繰り返し行なってください。

(この動作は初期化動作で、プリント用紙装着時に指紋やごみが付いた部分を取り除くためのものです。またプリント準備のために、機械的な位置が初期状態に戻ります。)

FEED & CUT



⑧ ON LINEボタンを押して、インジケータを点灯させます。

プリント用紙とインクシートの装着は以上で完了です。

お知らせ

- ・ インクシートとプリント用紙の交換は必ず同時に行なってください。
- ・ インクシートとプリント用紙の交換に合わせて、ダストボックスの切りくずを捨ててください。
- ・ ICはインクシートについています。ICチップはボタン電池と似ていますが、電池ではありません。このICは普通のゴミとして捨てることができます。

プリント用紙の取扱い

■ プリント前の取扱い

プリント用紙の表面に指紋やゴミ等が付いた場合、印画品質の低下や紙づまりの原因になる場合があります。また、プリント用紙交換時にFEED&CUT操作を行なって用紙を裁断しないと、プリント画2～3枚は、手のゴミや脂等により部分的にプリントできないことがあります。

本機を低温の場所から高温の場所へ急に移動した場合、紙の表面に湿気または露が付き、印画品質の低下や紙詰まりの原因になることがあります。このような場合には、本機をしばらく室内に放置してからご使用ください。

プリント用紙装着時にFEED&CUT操作を所定の回数以上繰り返すと、所定の枚数分のプリントができなくなる場合があります。また、プリント用紙を途中で交換した場合も、所定の枚数分のプリントができなくなる場合があります。

プリント用紙は立てて置いたり保管したりしないでください。巻きずれることがあります。

■ プリント後の取扱いとプリント用紙の保管

本機は保存性、耐久性に優れた表面保護コーティング付プリント用紙に対応しています。

■ プリント後の取扱い

プリントされた紙を湿った手で持つと、変色することがあります。

紙が有機溶剤（アルコール・エステル・ケトン類など）を吸収すると、画像が退色します。

セロテープ、軟質塩ビなどに密着させると、化学反応で退色が早くなりますのでご注意ください。

プリント後の紙は、なるべく直射日光など強い光の当たらない湿度の低い場所で保管してください。

■ プリント用紙の保管

軟質塩ビなどのフォルダーに保管しないでください、化学反応で脱色します。

プリント用紙は直射日光や暖房器具のそばを避け、温度5～30以下、湿度20%～60%RHの冷暗所で保管してください。

プリンタドライバのインストールについて

接続したパーソナルコンピュータのデータを本機でプリントするためには、プリンタドライバが必要です。

本機にはWindows®またはWindows NT®が動作するコンピューター用のプリンタドライバが同梱されています。

プリンタドライバ名	動作環境
CPD8000W	Microsoft® Windows®95、Windows®98、Windows®Millennium 日本語版上で動作可能
CPD8000N	Microsoft® WindowsNT® 4.0 日本語版上で動作可能
CPD8000N0	Microsoft® Windows 2000日本語版上で動作可能

プリンタドライバのインストール方法等、くわしくは同梱のフロッピーディスクに入っているReadMeをごらんください。

Microsoft Windows, WindowsNT, Windows 2000およびWindows Millenniumは米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。

トラブルシューティング

前面インジケータの表示と処置

本機がプリントできなくなったり、プリント中にエラーが生じた場合は本機前面のインジケータが、点灯または点滅しエラーを知らせます。

この場合は下表を参考に処置を行ってください。

☺ : 点灯 ● : 消灯 ☺ ● : 点滅 - : 前回の状態による

ALARM	SHEET	PAPER	DATA	原因 / 処置	参照ページ
☺	-	-	-	ドアが開いている。 ・ドアを閉めてください。	11
☺ ● (低速)	-	-	-	サーマルヘッドの温度が高くなった。 ・温度が下がるまでしばらくお待ちください。*注1	---
●	☺	-	-	インクシートが装着されていない。 インクシートが終了した。 ・新しいインクシートを装着してください。	19-20
●	☺ ● (低速)	-	-	インクシートの残量警告 インクシートの残量が、10枚以下になっています。*注2	---
●	-	☺	-	プリント用紙が終了した。 ・新しいプリント用紙を装着してください。	21-22
●	☺	☺	-	インクシートとプリント用紙の組み合わせが正しくない。 ・インクシートとプリント用紙は 同じ箱に入っている 正しい組み合わせにしてセットしてください。	19-22
☺ ● (高速)	●	●	-	紙詰まりが発生した。 ・「紙詰まりの処置」をごらんの上、処置してください。	26
☺	☺ ● (低速)	-	-	ICチップエラー インクシートに装着されているICチップが正規のものでない。 ・正規のICチップをセットしてください。	19
☺ ● (低速)	☺ ● (低速)	-	-	インクシート判別エラー ICチップとインクシートの種類が一致していない。 ・正規のインクシートをセットしてください。	19
☺	☺	-	-	インクシートマークエラー インクシートが正しく装着されていない。 ・再度正しく装着してください。プリントが途中で止まっている場合は、ON LINEボタン上のインジケータが消灯していることを確かめた上、FEED & CUTボタンを押してください。	19-22

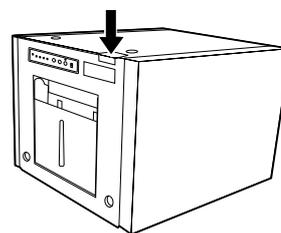
*注1 連続プリントを設定中の場合は、エラー表示が消えた後、継続してプリントを再開します。

*注2 プリント中は、エラー表示が出ない場合があります。

紙づまりの処置

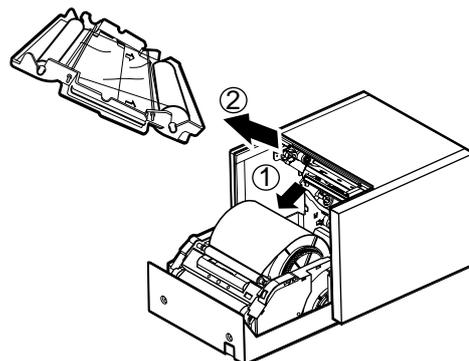
- 1 OPENボタンを押して、ドアを開けます。

ドアを開ける時、本機の電源がONになっていることを確認してください。
ドアが開かないときは、一度電源をOFFにして、再度電源をONにしてください。

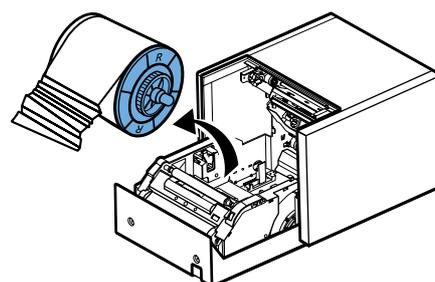


- 2 インクカセットを外します。

インクカセットを矢印①の方向へ引き下げてから取り出します。



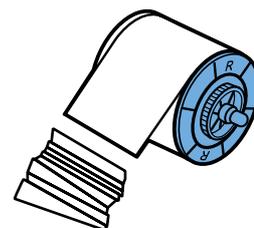
- 3 プリント用紙を手で引き出します。



- 4 プリント用紙の、しわになっている等の不良部分をはさみで切り取ります。

お知らせ

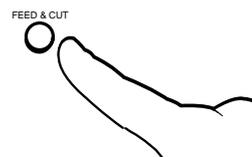
プリントされた部分は必ず切り取ってください。すでにプリントされた部分に、さらにプリントすると、プリント用紙にインクシートが貼り付き、インクシートが切れることがあります。



- 5 プリント用紙と、インクシートの入ったインクカセットを装着します。
(19 ~ 22ページ 参照)

- 6 オフライン状態にして、FEED & CUTボタンを押します。

本機の設定が初期化されます。



サービスをお申しつけの前に

このようなときは以下の表を参考にもう一度点検してください。

症 状	原 因 / 処 置
電源が入らない	電源プラグがコンセントからはずれていませんか？ 本機のプラグを電源コンセントに差し込んでください。 保護回路が働いている場合がありますので、電源を"OFF"にして約2分間お待ちください。その後電源を"ON"にしてください。
プリントできない	プリントする画像をデータ転送していますか？ 再確認してください。 インクシート、またはプリント用紙が終了していませんか？ 再確認してください。 インクカセットは確実に押し込まれていますか？ 再確認してください。 ICチップは正しく装着されていますか？ 再確認してください。
用紙いっぱいプリントできない	プリンタードライバーの設定は正しいですか？ 再確認してください。
画像を転送できない	ON LINEインジケータが点灯していますか？ 再確認してください。 入力切替スイッチが正しく設定されていますか？ 再確認してください。
COPYボタンが効かない	ON LINEインジケータが点灯していませんか？ ON LINEインジケータを消灯させてください。 プリントする画像をデータ転送していますか？ 再確認してください。
本機をパソコンが認識しない	オフライン状態になっていませんか？ ON LINEボタンを押してオンライン状態にしてください。 SCSI IDが他の機器と重なっていませんか？ SCSI IDを変更してください。 入力切替スイッチが正しく設定されていますか？ 再確認してください。

プリンター輸送時のお願い

修理等で本機を輸送する場合は、以下の項目を必ずお守りください。

純正の梱包材を使用する。

梱包材は、別売品として準備しています。

梱包材は、1往復程度の使用は可能ですが、それ以上の使用は輸送条件によっては製品の保証ができなくなる場合があります。

本機を再び輸送する場合は、梱包材を別途ご購入ください。

付属品はすべて本体から取りはずしてください。

クリーニングについて

本機を長期間安定してお使いいただくために、以下の手順で本機内部をクリーニングしてください。

準備するもの

アルコール(イソプロピルアルコール)

ティッシュペーパー(半分ずつ4回ほど折り、折った面を清掃面にします。)

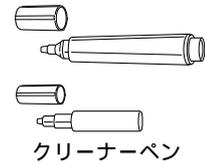
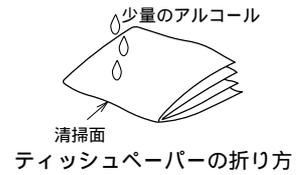
綿棒

かたく絞った雑巾もしくはセロハンテープ

その他、別売のクリーナーペンがあります。

別売品についてはお買いあげの販売店にお問い合わせください。

クリーニングの前に必ず電源をOFFにしてください。



1 OPENボタンを押して、ドアを開けます。

2 インクカセットを取り出します。

3 プリント用紙を取り出します。

4 インクシートセンサを清掃します。

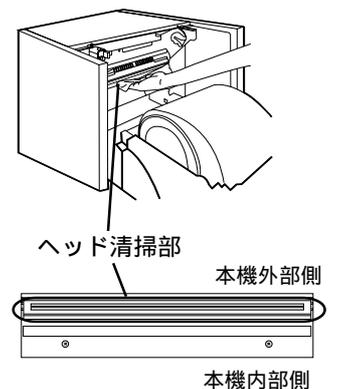
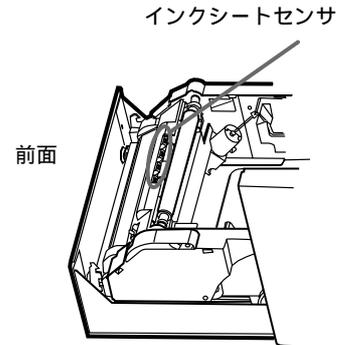
右の図の丸で囲まれている部分を拭きます。

綿棒などにアルコールを少量しみこませて軽くホコリをふきとってください。

5 ヘッドを清掃します。

サーマルヘッド下面にある発熱体部分を拭きます。

ヘッド清掃部をティッシュペーパーなどにアルコールを少量しみこませて軽くていねいに拭き取ってください。



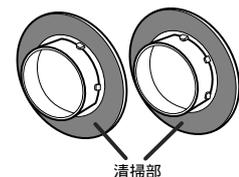
お知らせ

- ・ サーマルヘッドに傷をつけないようにご注意ください。
- ・ クリーニングしてもプリント画質が改善されない場合はサーマルヘッドの交換が必要です。くわしくは販売店にご相談ください。
- ・ プリント直後のサーマルヘッドは高温になっている場合がありますので、クリーニングする場合はサーマルヘッドの温度が下がるまでお待ちください。

6 アタッチメントを清掃します。

右の図で示されている部分(プリント用紙に触れている部分)を拭きます。

ティッシュペーパーなどにアルコールを少量しみこませて軽くていねいに拭き取ってください。



仕様と別売品について

仕様

種類	デジタルカラープリンタ		
形名	CP8000D		
プリント方式	昇華染料熱転写フルカラー方式 3色面順次印画(イエロー、マゼンタ、シアン)+表面保護コーティング		
解像度	304×304 PPI (Pixel per inch)		
プリント画素数	Mサイズ	1592×1112 pixel (縁なし)	
	Lサイズ	1892×1268 pixel (縁なし)	
	Wサイズ	1892×2788 pixel (縁なし)	
階調数	256階調 (8ビット 約1,670万色)		
印画時間	Mサイズ	約15秒/画面 (IDモード 約29秒)	
	Lサイズ	約22秒/画面 (IDモード 約32秒)	
	Wサイズ	約40秒/画面 (IDモード 約62秒)	
印画シート	専用インクシート方式		
プリント用紙	専用ロール紙	Mサイズ127 mm×89mm	印画サイズ 127mm×89 mm (縁なし)
	専用ロール紙	Lサイズ152 mm×102mm	印画サイズ 152 mm×102 mm (縁なし)
	専用ロール紙	Wサイズ152 mm×229 mm	印画サイズ 152 mm×229 mm (縁なし)
給紙方法	自動給紙		
インターフェイス	SCSI-II, IEEE1284, USB		
電源	AC100V 50/60Hz		
消費電流	印画時 2.7A 待機時 0.2A		
使用環境条件	温度5 ~ 40		
	湿度20% ~ 80%(結露なし)		
設置条件	動作姿勢水平±5°(以内)		
外形寸法	幅330 mm×奥行360 mm×高さ270 mm		
質量	約14 kg		
付属品	電源コード(1本) インクカセット(1個) 取扱説明書(1冊) SCSIターミネータ(1個) プリントドライバ(CPD8000W, CPD8000N, CPD8000N0) ACプラグ2P変換アダプタ(1個) 保証書(1冊) ペーパーアタッチメント(左右各1個) スペーサーM(2個) ダストボックス(1個) ラベル(1枚)		

仕様および外観は改良のため変更することがあります。

別売品

■ プリント用紙+インクシート

品名	プリントサイズ	プリント数	用途
CK8000FM4P	Mサイズ	240枚	表面保護コーティングカラープリント用
CK8000FL4P	Lサイズ	220枚	表面保護コーティングカラープリント用
CK8000FW4P	Wサイズ	110枚	表面保護コーティングカラープリント用
CK8000PSTE	Lサイズ	220枚	表面保護コーティングポストカードサイズプリント(裏面横書きハガキ印刷)

保証とアフターサービス

保証書(別添付)

保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店からお受け取りください。保証書の記載内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、デジタルカラープリンタの補修用性能部品を、製造打切り後最低8年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

修理・取扱い・お手入れなどのご相談は、お買上げの販売店へお申し付けください

修理を依頼されるときは

「修理を依頼する前にをよくごらんになって、今一度お調べください。

それでも異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

- ・修理の際には、保証書をご提示ください。
- ・保証の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

- ・修理すれば使用できる場合は、ご希望により修理いたします。

修理料金は

- ・修理技術料+部品代(+出張料)で構成されています。

INTERNET INFORMATION この製品に関する詳細情報、使用応用例などを、wwwサーバでもご提供しています。

<http://www.vcp.melco.co.jp/>

技術的なお問い合わせは三菱カラープリンタテクニカルセンターへ。



0120-710-391 (フリーダイヤル)

受付時間/AM9:00~12:00・PM1:00~5:00
(土、日、祭日を除く)



075-325-4195



pep-m@mbox.kyoto-inet.or.jp

愛情点検

長年ご使用のデジタルカラープリンタの点検をぜひ!

(熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。)



このような症状はありませんか

電源コード、プラグが異常に熱い。
コゲくさい臭いがする。
製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
電源スイッチを入れても、表示が出ない。
その他の異常・故障がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

デジタルカラープリンタの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です。

 三菱電機株式会社

京都製作所 〒617-8550 京都府長岡京市馬場岡所1番地

871C592C2